



# コンテ

# 2006.3

## 5S と 躰

毎日多くの方に出会っていると、良い習慣が身についている方がいます。そんな方と共に行動していると、気持ちが晴れやかになります。

- ・靴を揃える。
- ・開けたドアは次の方が来るまで開けておく。
- ・期限は必ず守る。
- ・もらった手紙に返事を書く。
- ・早起きをする。
- ・背筋を伸ばして歩く。
- ・笑顔を忘れない。

- ・毎日本を読む。
- ・挨拶をする。
- ・机の上が片付いている。

これらのことをおほめすると、決まって次のように言われます。

「当然のことをしているだけのことです。特に意識して行っているのではありません」  
一つのことが身につけて自然に行われるようになることを「習慣化されている」と言います。これは「躰(しつけ)」とも言います。

5S ということばがあります。整理、整頓、清掃、清潔、躰の頭文字をとったものです。このう

ち、私は清潔、躰ということばが好きです。

「清潔」とは職場や家庭で守るべきルールがあって、それが持続されている状態を言います。そして、そのルールを習慣化させることを「躰」と言います。良い習慣が身についた人は身が美しく見えるのでこの字が当てられているのでしょう。

しかし、ある程度年齢が過ぎてから、良い習慣を身につけるには「強制化」が必要で、痛みが伴います。

「職場」や「家庭」とは良い習慣を「強制化」し、躰ける場であるといえるでしょう。甘えのほびこる職場では良い習慣は身につかないのです。

【降旗 達生】

## お客様の声

### ダルマ産業株式会社

代表取締役 阿曾相治様

#### 1. ISO9001 取得を取り組まれた背景

大手企業を脱サラをして、ガムシャラに突っ走って来ました。最近ようやく事業の方も軌道に乗ってきて社員も成長してきました。私がやってきた事が正しいかどうか検証してみたかったです。またこういう時代になってきましたから、他社との圧倒的な差別化をかけてみようと思いました。

#### 2. 取得活動について

まず若手社員に責任を持たせました。そしてスピードを追い求めて活動するように徹底して幹部から末端社員にいたるまで意識づけいたしました。

5月キックオフ大会を開催して、6月中旬に品質方針、目的を固めました。その後QM.と色々な帳票作成に取り組みました。7月に内部監査員の養成をしまして、ほぼ8月にはQMを作り終わりました。その後運用開始期間は3ヶ月あまりです。その後色々な微調整をして12月には認証取得を完了しました。

#### 3. グッドシステム

弊社の事業内容としまして、小売業、大手デパート、倉庫業、など熱絶縁機器の設置工事や機械の取り付けを主に活動してまいりました。

そのなかで重要なことは進捗管理、スケジュール管理です。タイミング、段取りが少しでも後手になりますと事業として成り立ちません。そこで早くからコンピューターを利用してシステムを構築して管理してきました。そのシステムを改良してISOにも導入しました。このアイデアがうまくいったため、他社では苦労されているという噂を聞きますが、弊社では全然当てはまりませんでした。

#### 4. 今後の抱負

私の信念ですが、会社は永遠です。個人の域を越えています。何でも同じですが、ISO活動を通じて若手教育を実施して、会社を引っ張る次の世代を育てることが私の責任と思えます。そんな思いを胸に頑張りたいとおもいます。

インタビューー追記；何事も決断の早い、そして熱血漢の社長です。真冬でも、アイスコーヒーをぐいぐい飲んで社員さんに熱く語られます。益々のご発展をお祈りいたします。  
(インタビューー 三浦規義)

## 技術士試験が変わる！

平成19年より技術士試験が大幅に変わります

技術士第二次試験では、平成17年10月12日～10月31日まで、技術士試験方法の改正に関する意見募集が実施されました。これは、文部科学省 科学技術・学術審議会 技術士分科会制度検討作業委員会において、審議された平成19年度技術士試験の改正案に対する意見募集です。この意見募集がされた改正案の概要をお伝えします。今回は、総合監理技術部門以外の部門の変更点について、以下に示します。

改正のポイントは以下のとおりです。

1. 8月に実施されている筆記試験では、業績論文(体験論文)がなくなります。
2. 業績論文(体験論文)は、筆記試験合格後、口頭試験の前に提出することとなり、口頭試験の中で体験論文の内容は質問を受けることになります。
3. 筆記試験の選択科目必須科目では、それぞれ一般的知識が問われていたのに対して、応用能力や課題解決能力といった一歩踏み込んだ内容が問われるようになります。また、体験論文が、筆記試験から割愛されたことによって、それぞれの配点が高くなっています。より踏み込んだ内容が問われていますので、新たな出題形式に対応した対策が必要となります。
4. 一般知識を問う五肢択一式問題は、第一次試験とも重複するため、第二次筆記試験では廃止となります。

5. 筆記試験に合格すると、口頭試験の前に体験論文を提出することになります。筆記試験の合格発表が11月にあり、12月初旬から口頭試験が始まることを考えると、筆記試験合格発表後に体験論文を作成している時間はありません。かつ、試験会場で論文を書くよりも、十分時間が取れることを考えると、より完成度の高い内容が要求されるものと予想できます。受験者は、十分な時間を費やして、体験論文を準備する必要があります。筆記試験当日の負担は軽くなりますが、全体としては受験者の負担減にはなっていません。

6. 口頭試験においてのみ、体験論文が問われることとなります。筆記試験で判断していた部分も含めて問われますので、従来にも増してよりウェイトをおいて質問されると予想されます。この結果、口頭試験における不合格者が増加すると予想できます。平成18年度が従来の試験制度の最後の年になります。試験制度が改正された年は、一般的に合格率が下がる傾向ですので、是非とも技術士を目指しておられる方々は、今年受験されることをお勧め致します。詳しくは、文部科学省のホームページ [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/public/2005/05101102.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/public/2005/05101102.htm)



## 施工管理技士試験日程が決まりました。

下記試験の詳細日程が発表されています。受験を予定されている方・ご興味のある方は、各問合せ先で情報をご確認下さい。

資格名	申込受付	インターネット申込	試験日	問合せ先
1級土木施工管理技士	4月3日～17日	3月17日～4月3日	学科 7月2日 実地 10月1日	財団法人 全国建設研修センター <a href="http://www.jctc.jp/">http://www.jctc.jp/</a>
2級土木施工管理技士	4月3日～17日	3月17日～4月3日	10月22日	
1級建築施工管理技士	2月17日～3月3日	2月17日～3月3日	学科 6月11日 実地 10月15日	財団法人 建設業振興基金 試験研修本部 <a href="http://www.kensetsu-kikin.or.jp/honbu/">http://www.kensetsu-kikin.or.jp/honbu/</a>
2級建築施工管理技士	7月中旬～下旬		11月中旬	

2級建築施工管理技士の詳細は5月下旬発表予定のため、上記は平成17年度試験日程参照です。